

## CIVIC史上かつてない価値を、世界の人々に届けたい

1972年に初代が誕生して以来、いち早く海外に視野を広げたシビックは世界のベーシックカーへと成長し、現在170以上の国と地域で販売されています。

Hondaが2016年に達成した四輪車における世界生産累計台数1億台の内、約2400万台、およそ4分の1をシビックが占めるほど世界で多くの人に愛用されてきました。

Hondaは時代の流れを見据えながら世界の人々の声に応えるために、これまでは地域に最適なクルマづくりという理念のもと、それぞれの地域のニーズを見極めたシビックを展開してきました。

しかし近年ではシビッククラス(Cセグメント)の市場は大きく変化し、よりハイレベルな走りの性能やプレミアム性の高い質感といった本物志向のニーズが欧州のみならず北米やアジアなど世界的に高まっています。

そこで10代目となるNewシビックは、しのぎを削るこのクラスをリードしていくために、Hondaがすべてのクルマづくりに求める根源的価値である「走る楽しさ・操る喜び」をかつてないレベルに引き上げ、世界の人々に共通の価値として届けたいと考えました。各地の開発拠点と連携を図りながら、シビックシリーズ史上初となる、セダン、ハッチバック、さらにTYPE Rを含む全モデルを同時に開発。

徹底的に高めた基本的なポテンシャルを共有したうえで、各モデルが「走る楽しさ・操る喜び」の飛躍的な向上を目指すという同時開発ゆえに実現可能な価値の創造にチャレンジしました。

■シビックシリーズ 主な研究・開発拠点および生産拠点



シビックシリーズは各モデルの主要市場となる地域の拠点で生産を行い、各地域が互いに補完しながらグローバル展開を行う高効率な生産体制を構築。日本に投入されるモデルは、セタンは国内(埼玉県寄居完成車工場)で生産、ハッチバックとTYPE Rは英国(Honda of The U.K. Manufacturing Ltd.)で生産し、輸入されます。